



2024 年度第 3 回理事会

議 事 録



公益社団法人 日本クレ－射撃協会

2024年度 第3回理事会

議 事 録

1. 日 時 2024年6月20日(木) 16時00分～
2. 場 所 JAPAN・SPORT・OLYMPIC・SQUARE 3階 会議室8
3. 出席者 出席理事17名、出席監事2名
◇ブロック選出理事5名
北海道・東北 相馬正(青森)
関東 原田光男(栃木)
東海・北信越・近畿 瀧根隆幸(富山)、古川竜則(京都)
中国・四国・九州 長谷川雅彦(山口)
◇学識経験者理事12名
不老 安正(福岡)、丸石 博(島根)、
中園 功一(鹿児島)、増田 正起(静岡)、
清水 光一(本部)、大内 智喜(長野)、
大山 重隆(埼玉)、小川 晶子(—)、
小高 左起子(—)、池内 数哉(大阪)、
布野 兼一(長野)、松島 愛(—)
◇監事2名
萩野谷 豊光(茨城)、坂本 昭一(佐賀)

(欠席理事) 堺良雄、夏樹陽子(藤井真紀)、ヒロミ(小園浩己)

4. 陪 席 多久和寿稔(競技委員長)
坂本 強(事務局長補佐)
大江 直之(事務局長補佐)
5. 理事会定足数確認
本理事会の定足数について、理事総数20名中17名の出席となり、定款第43条の規定により過半数の理事が出席しているため、本理事会は適法に成立したことを事務局より報告。なお、監事については2名全員が出席。
6. 出席者紹介及び議長選出
事務局より、配布資料に添って出席理事・監事を紹介。
事務局より、議長選出にあたり議場へ立候補又は推挙があるか確認。
増田理事より不老安正氏を議長へ推挙する旨の提案があり、議場へ諮りこれを了承。

7. 議事録署名人

不老議長より、本理事会の議事の経過を議事録とし議事録署名人については、定款第 47 条に基づき、会長と出席監事である萩野谷監事・坂本監事となる旨説明。

8. 審議事項

(1) 代表理事（会長）の選定について

事務局より議案説明。

定款第 28 条第 2 項に従い、代表理事は理事会において選定する、同条第 3 項、代表理事は会長へ就任すると定められているため、代表理事（会長）の選定を審議願いたい。

議長より議場へ立候補又は推挙があるか確認し、丸石理事より前期に引き続き不老安正氏へ代表理事（会長）を務めていただきたい旨の推挙があった。

議長がこれを議場に諮り満場一致で承認。不老安正氏（福岡）の代表理事（会長）選定が承認された。

(2) 副会長・専務理事・常務理事・委員会委員長等の選定・選任について

事務局より議案説明。

定款第 28 条第 2 項に従い業務執行理事を選定し、同条第 4 項にて業務執行理事より副会長 3 名以内、専務理事 1 名、常務理事 9 名以内を選定することが規定されている。

なお、各専門委員会委員長は各委員会規程の改正に伴い、必ずしも理事ではなくても良いことになっている。

議長が議場に諮り、会長一任と決定。

議長より副会長・専務理事・常務理事・委員会委員長等について次の通り提案し、満場一致で承認された。

なお、副会長の序列は記載の通りとすることを確認した。

副会長	丸石博、夏樹陽子（藤井真紀）、中園功一
専務理事・総務委員長	増田正起
常務理事・競技担当理事	大内智喜
常務理事・強化委員長	清水光一
審査委員長	中園功一
アスリート委員長	大山重隆
競技委員長	多久和寿稔

なお、医科学委員長については、引き続き検討することを確認した。

(3) 上部団体等選出役員について

事務局より議案説明。

JSP0、JOC、名古屋アジア大会、ワールドマスターズゲームズ関西に対する

役員選任について審議願いたい。

議長が議場に諮り、会長一任と決定。
議長より上部団体等選出役員について次の通り提案し、満場一致で承認された。

JSPO	評議員	丸石 博
	国体競技運営専門委員	丸石 博
JOC	評議員	清水 光一
	インテグリティ担当理事	増田 正起
2026 名古屋アジア大会	スポーツ・コーディネーター	大内 智喜
	テクニカル・オペレーション・マネージャー	清水 光一
WMG 関西 2027	代表委員	大内 智喜

(4) 正会員の変更について

事務局より説明。

山梨県クレール射撃協会より正会員変更届が提出されている。入会・退会規程に基づき理事会の承認をお願いしたい。

山梨県 齊藤一幸 → 小池康弘

議長がこれを議場に諮り、満場一致で承認された。

9. 報告事項

(1) 強化委員会関係

◇行動規範

事務局より説明。

JOC へ提出する調査報告書の検証結果にも含まれていたが、諸問題の再発防止のため、日本代表強化選手の行動規範・誓約書、日本代表監督及びコーチスタッフの行動規範・誓約書を、強化委員会が配布資料の通り作成した。

(以下、配布資料に添って内容説明)

既に、去る6月9日実施の最終選考会終了後、該当選手からは先行して配布した行動規範・誓約書へ署名いただいております。事後承認となり申し訳ないが理事会の承認をお願いしたい。

議長が議場に確認しこれを了承。

◇ロス五輪強化選手選考会・コーチスタッフ

事務局より説明。

計3回の選考会を実施した結果、次の通りとなった。

強化選手選考会 結果一覧表

		強化指定	強化育成	ネクストアスリート
第1回岡山 5/18～19	トラップ男子		田村道英 116	
	トラップ女子	大前有希 116		
	スキート男子		戸口翔太郎 117	
	スキート女子			小島有加 110
第2回佐久平 5/25～26	トラップ男子			
	トラップ女子			
	スキート男子	戸口翔太郎 118	折原研二 117 脇屋昂 116	
	スキート女子	小島有加 118 折原梨花 117		鈴木未来乃 109
第3回岡山 6/8～9	トラップ男子	田村道英 118		
	トラップ女子		宮坂七海 112	
	スキート男子	脇屋昂 120	丸山和成 116	
	スキート女子			
最終結果	トラップ男子	田村道英		
	トラップ女子	大前有希	宮坂七海	
	スキート男子	戸口翔太郎 脇屋昂	折原研二 丸山和成	
	スキート女子	小島有加 折原梨花		鈴木未来乃

清水強化委員長より補足説明。

現在 JOC と協議中ではあるが、前回理事会時に説明した通り、コーチについてはハイパフォーマンス・ディレクターについては私、ナショナル・ヘッドコーチ中山由起枝氏。これに加えてトラップコーチ2名：竹葉多重子氏、川邊貴典氏、スキートコーチ2名：山下友也氏、佐藤堅司氏をそれぞれ推薦させていただくので理事会の了承をいただきたい。

ハイパフォーマンス・ディレクターやナショナル・ヘッドコーチについては、理事会へ推薦理由や今後の目標を開示させていただいたが、1年後、成果を検証した上でもう1年更新というルーティンで臨みたい。JOC から重点的に指導されている。

また、強化委員会について、委員長が私・副委員長が中山氏ということで見切り発車したが、私の不手際で中山氏より副委員長の就任を承諾いただいていた。現状委員会は私1人であるが、副委員長や委員の選任について状況を鑑みながら補充していきたい。

議長が確認し、強化選手・スタッフを了承。

◇強化戦略プラン

清水委員長より説明。

前回理事会で更新した強化戦略プランを理事・監事へ配布させてもらった。従来の強化戦略プランは、前任の強化委員会関係者が作成し、メダル獲得を目標としたプランが骨幹となるどころ、理事会で開示されていなかった。プランには当然目標があり、結果・成果があり、それを振り返りブラッシュアップしていくものだ。4年後のロス五輪に向けて、各位より忌憚のない意見をいただきたい。いただいたご意見を真摯に受け止め、少しでもメダル・入賞の確率を上げていくよう努力したい。

(2) 審査委員会関係

事務局より説明。

各ブロックで行っている審判員講習会における講習内容は、講師に全てをお任せで行っていたため、例えば、北海道と九州で内容が違う状況が散見していた。審査委員会や事務局からは、担当する講師へ基本的にはルールの改正点を重点的に行っていたきたい、或は試験問題の内容を重点的に行っていたきたいという依頼はしていたが、カリキュラムや時間配分の取り決めは設けていなかった。

ライセンス発行にあたり、講習会のカリキュラムや時間配分を決めておく必要があると考え、配布資料の通り原案を作成した。1点検討課題があることは、実技指導を行なう際に模擬銃を使用することが書いてあるが、模擬銃は手続きが必要で当協会には2丁しかない。強化委員会が使用することもあるので、審査委員会との併用には数が足りない。当該ブロックで模擬銃を用意することは可能だろうか。

議長より説明。

難しいだろう。1丁60万円程度はする。

事務局より説明。

ブロック講習会のカリキュラムについて、模擬銃を使用する件だけは検討課題として協議したい。その他のカリキュラムについて理事会の了承を得られれば、今後の講習会は全国統一で同カリキュラムで実施するにしたいというのが審査委員会の要望だ。

議長が議場に確認しこれを了承。模擬銃の使用については引き続き検討することを確認した。

(3) その他：地方公式大会について

原田理事より意見。

先ほどの社員総会で本部の財務状況は健全であることを理解したが、地元の栃木県協会はギリギリの状態で行っている。関東ブロック会議の際、他県からも意見を伺うと、クレー代が値上げ、装弾も値上げ、公式大会への参加選手が少なくなっている。栃木県協会でも昨年は10組集まっていたが、今年は6組程度と顕著に参加人数が減ってきている。

1大会あたりの収入が少ない中、本部への公認料5万円＋人数分×2,000円の

負担がかなり大きくなってきている。6組集まらないと、私達がボランティアで従事しても赤字になってしまう。上納金を一部免除など、何か良い方法を検討いただきたい。参加料を値上げすると更に参加人数が減る恐れもある。今後の検討課題として取組んでほしい。

事務局より説明。

競技規程に関する事なので、本日選任された競技委員長の多久和氏、競技担当理事の大内氏、総務委員長の増田氏と事務局で前向きに検討させていただく。

(4) その他：佐賀国スポ大会

坂本監事より説明。

佐賀国スポ大会クレール射撃競技では、配宿の結果、ホテルで食事提供ができない。駅周辺ホテルを予定しているが、ホテルでの食事提供ができないので駅周辺の飲食店で食事を取っていただくようになる。

私はたまたま佐賀県飲食業界の副理事長、佐賀市飲食店の理事長をやっているのので、県と相談して予算を確保した。「佐賀勝ち飯ペイ」としてプレミアムチケットを発行するよう準備を進めている。社員総会時に案内すべきだったかも知れないが、佐賀市内330店舗の飲食店のみしか使えないが様々なジャンルを用意している。各協会におかれてはプレミアムを買っていただいた方がお得になるので、是非利用願いたい。

議長より意見。

各都道府県協会へ周知すべきだ。

事務局より説明。

議長の言う通り、各都道府県協会へアナウンスが必要だ。

思い起こしたことがあるので共有いただきたい。例えば、競技役員方々が自県選手達へ激励・ご馳走するため、宿の夕食を事前キャンセルせずに外出してしまった。結果、大量の夕食が余って廃棄に繋がり問題化したことがある。身に覚えがある方が居るかも知れないが、規定に基づき欠食手続きをしていれば、食品ロスも減るので、是非今後の国体では留意いただきたいと思う。


議長より、以上で報告事項、議案審議の総てが終了したことを告げ、出席各位への慎重審議に対する謝辞と会長就任にあたり挨拶があり、閉会を宣した。

次回理事会は、8月27日となった。

17時20分 閉会

2024年6月20日

公益社団法人 日本クレール射撃協会

議長 不老 安正 
(会長 不老 安正 自筆署名)

議事録署名人 萩野谷 豊光 
(監事 萩野谷 豊光 自筆署名)

議事録署名人 坂本 昭一 
(監事 坂本 昭一 自筆署名)